

計画の名称	2 安全安心な都市公園の改修														
計画の期間	平成26年度～平成30年度 (5年間)					交付対象	島田市								
計画の目標	公園施設は生活者の視点に立った安心で質の高い暮らしを実現するため、大規模地震に備えた防災性の向上や公園施設の計画的な機能保全により安全性の確保等、事業を緊急かつ計画的に実施し、子供や高齢者を始め誰もが安全で安心して利用できる都市公園の整備を推進する必要があります。市内の公園は設置から長い年月が経過した公園が多く、今後の経年による老朽化に対する公園施設の安全対策の強化及び改修・更新費用の平準化を図る必要があることから、平成23、24年度に実施した公園施設長寿命化計画に基づき公園施設を改築・更新し適切で計画的な維持管理を行うことにより都市公園の安全性や快適性が向上するとともに、公園施設の長寿命化を図る														
計画の成果目標 (定量的指標)	<ul style="list-style-type: none"> 平成30年度までに15箇所において公園施設長寿命化計画に基づく公園施設の改築を行い、改築が必要な公園施設の割合を74%から100%にする。 平成30年度までに15箇所において公園施設長寿命化計画に基づく公園施設の改築を行い、安心して遊ぶことができる幼児児童人口を 1,088 人から 2,452 人に拡大する 														
定量的指標の定義及び算定式									定量的指標の現況値及び目標値			備考			
									当初現況値 (H26度当初)	中間目標値 (H28度末)	最終目標値 (H30度末)				
① 整備すべき老朽化施設整備率 (%) ※ 整備率 (%) = 改築・更新済施設数(148施設) / 計画対象公園施設数 (1,241施設内201施設/15公園)									74%	89%	100%				
② 安心して遊ぶことができる幼児、児童利用人口率 (%) ※ 利用人口率 (%) = 改築・更新公園済地区人口 (1,088人/15公園) / 計画対象地区人口 (2,452人/15公園)									44%	79%	100%				
全体事業費	合計 (A+B+C)	156百万円	A	156百万円	B	0百万円	C	0百万円	効果促進事業費の割合 C / (A+B+C)		0.00%				
事後評価															
1. 事後評価の実施体制、実施時期															
事後評価の実施体制						事後評価の時期									
島田市社会資本整備評価委員会による。						令和2年3月									
						公表の方法									
						HPで公表									
2. 交付金対象事業の進捗状況															
交付対象事業															
A1 基幹事業															
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接 間接	事業者	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	事業実施期間 (年度)					全体事業費 (百万円)	備考
									H26	H27	H28	H29	H30		
A-1	都市公園	一般	島田市	直接	島田市	公園施設長寿命化対策支援事業 (中央公園他 14公園)	遊戯施設等 (53施設) の改修及び更新を行う	島田市						156.4	
合計													156		
B 関連社会資本整備事業															
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接 間接	事業者	要素となる事業名	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	事業実施期間 (年度)					全体事業費 (百万円)	備考
									H26	H27	H28	H29	H30		
B-1															
B-2															
B-3															
合計													0		
番号	一体的に実施することにより期待される効果										備考				
B-1															
B-2															
B-3															
C 効果促進事業															
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接 間接	事業者	要素となる事業名	事業内容	市町村名 港湾・地区名	事業実施期間 (年度)					全体事業費 (百万円)	備考
									H26	H27	H28	H29	H30		
C-1															
合計													0		
番号	一体的に実施することにより期待される効果										備考				
C-1															

3. 事業効果の発現状況、目標値の達成状況						
I 定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況		施設の整備率が向上し安全に利用のできる施設が増加した。また、安心して遊ぶことができる幼児・児童利用人口が増えた。				
II 定量的指標の達成状況	指標① 整備すべき施設整備率	最終目標値	100%	目標値と実績 値に差が出た 要因	当初計画策定時に想定していた事業費と実際の施工に要した事業費に相違があり、 期間中の整備に至らない施設があったため。	
		最終実績値	88%			
	指標② 安心して遊ぶことができる幼 児、児童利用人口率	最終目標値	100%	目標値と実績 値に差が出た 要因		当初計画していた公園と実施した公園に差異が生じたが、比較的大きな遊具更新を 優先したところ、対応できた公園施設数が減ってしまったため。
		最終実績値	86%			
		最終目標値		目標値と実績 値に差が出た 要因		
		最終実績値				
		最終目標値		目標値と実績 値に差が出た 要因		
		最終実績値				
III 定量的指標以外の交付対象事業の効果の発現状況 (必要に応じて記述)						
4. 特記事項 (今後の方針等)						
H31～R5年度の整備計画に基づき整備率の目標を達成する。また利用者が安心安全に施設を利用できるよう維持管理に努める。						